

昭和電工株式会社 東長原事業所だより

発電所見学会



発電所見学の様子



旭ダム見学の様子

10月27日、東長原8地区にお住まいの皆様を対象に湯野上発電所・旭ダム見学会を開催しました。

当日は大型バスをチャーターし、参加者・スタッフを含めた34名で事業所から湯野上発電所まで向かいました。到着後は、長い階段を降りて発電所を見学する班と、管理棟で説明を聞く班に分かれての行動となりました。発電所まで217段の階段を降りなければならないことから、見学希望者は少ないのではないかと心配しましたが、ほとんどの方が階段を降りて発電所の見学を選ばれました。



記念写真

発電所の次は旭ダムに移動し、堤体と管理棟をご見学いただきました。あいにくの雨でしたが、皆さん熱心に説明を聞いて下さいました。

見学後の昼食会の中では、これまで地区の皆様に発電所や旭ダムを見ていただく機会が無かったことから、「工場は何度も見たけどこっちは初めてだね」「水もきれいだし景色も良いね」などのご意見を頂きました。

今後も事業所見学や地域行事などを通じて、地域へ貢献していきたいと思ひます。

インターンシップ

10月10日から3日間、会津工業高校からインターンシップ実習生1名を受け入れました。

安全教育、現場実習や見学に加え、保護具の着用やボンベの重さなどを体験していただきました。

最初は緊張した様子が見られましたが、最後には笑顔も多く見られ、充実した3日間を過ごしていただけたと感じています。今後も、実習生の未来に役立つインターンシップのより良い在り方を考えていきます。



窪田事業所長挨拶

秋季防災訓練

東長原事業所では毎年2回、事業所内に立地する4社、常駐協力企業7社及び会津若松消防署十文字出張所と合同で総合防災訓練を行っており、10月18日に地震による火災発生を想定した訓練を実施しました。

毎年少しずつ改良を加えながら訓練を実施していますが、今年は防災無線(ハザードトーク)を活用して非常対策本部、現地対策部、各製造課が情報連絡を密に取り合いながら災害発生時の初動対応訓練を行いました。

訓練終了後には、十文字出張所鈴木所長からも好評価をいただき、行政への通報・連絡を含め、事業所敷地内の保安防災レベルの底上げを図る有意義な訓練になりました。

東日本大震災から7年が経過しましたが、その後も毎年のように国内の至る所で大規模な地震が発生しています。東長原事業所においても万が一の地震発生に備えた十分な体制を構築して訓練を積み、地域の皆様に安心していただける事業所を目指して、これからも活動が続けていきます。



消火訓練



公設消防との協働



訓練終了後の訓話

新規事業安全祈願祭



安全祈願祭の様子



実験棟建屋(取り壊し前)

10月10日、新規事業開始に伴う場内建屋の一部取り壊しと、用地造成工事実施のための安全祈願祭を執り行いました。

取り壊される建屋は、明治43年に建設されたレンガ造りの実験棟で、震災時にも壊れることなく108年間使用されてきた歴史のある建屋です。今回の計画により建屋は長年の役目を終え、跡地が新たにCCR(中央制御室)として生まれ変わる予定となっているため、感謝の気持ちも込めて式事は執り行われました。

当日は建屋の前に祭壇を組み、田中常務執行役員、窪田事業所長他より玉串奉奠が行われ、IC課員、工務G員等も多数集まった安全祈願祭となりました。

いよいよ新規プロジェクトが動き出す運びとなります。東長原の新しい1ページを、まずは安全第一にて進めていきます。